

第 173 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和元年 10 月 24 日（木） 13：30～16：17

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 河上部長 前木参事 湯浅課長（兼室長） 河上副参事

市原課長 村瀧副参事 牛尾室長 村木課長 外浦課長

平岡室長（代理：三浦係長） 原田分室長 佐々尾分室長（欠席）

三浦分室長 小松分室長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 令和 2 年度当初予算要求の骨子について（資料 1）

(2) 教育委員会自己点検・評価について（資料 2）

(3) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) その他

1 教育長報告

石本教育長

申し上げにくいですが、実は毎月お配りしている資料ができてないため、本日は詳しい報告ができない。来月にまとめて報告させていただきたいと思う。申し訳ない。

この 1 か月間を振り返ると中学校では、運動部の新人戦が各種目行われている。そして、小学校では小体連の体操大会が県立体育館で盛大に行われた。小学 4 年生以上の男女、延べ 500 人の選手が出場する大きな大会であった。また、10 月 14 日には浜田市総合スポーツ大会の開会式が県立体育館で開催された。スポーツの秋に相応しく色々なスポーツイベントが行われている。

一方、浜田市も浜田開府 400 年ということで、記念式典や関連したイベントが開催され、併せて教育委員会では御便殿を活用した浜田城資料館の開館もこの 1 か月間で行われている。

また、協調学習、新しい学びプロジェクトの全国研修大会についても 10 月 18 日、19 日の 2 日間で行われ、金城中学校と旭中学

校では公開授業を行い、全国から県内も含めて80数名の先生方にお集まりいただき、盛大に研究大会が開催できたところである。そういったことを細かく報告する予定だったが、また来月にさせていたいただきたいと思う。大変申し訳ない。
それでは議題に入りたいと思う。

2 議題

(1) 令和2年度当初予算要求の骨子について(資料1)

(非公開)

(2) 教育委員会自己点検・評価について(資料2)

石本教育長 これについては事前に資料を送付し、中身については確認をしていただいているので、平成30年の事業について、委員方にはお目通しいただいていると思うが、例年のとおり、ページ等を区切って、間でお気付きの点があればご指摘をいただきたいと思います。そのように進めてよろしいか。

各委員 良い。

石本教育長 それでは、3ページから7ページのところの総評であるが、この部分でお気付きの点があればお願いします。

各委員 特になし。

石本教育長 それでは、9ページ以降の自己点検・評価項目に入りたいと思う。項目がNo.1からNo.75までであるが、I学校教育の充実の中の(1)生きる力の育成がNo.1からNo.18までであり、ここの部分でご指摘があればお願いします。

宇津委員 No.1の11ページ、教育委員会の評価のところで「総合的な学習の時間に、自分で調べ学習に取り組んでいると思う子どもの割合」について、小学6年が75.9%(+3.3%)とあるが、3.3%とは前年比であるか。

石本教育長 そうである。確かに分かり辛いので、前年比と入れることでよろしいか。その方が分かり易い。

宇津委員 そういう書き方をしているところもある。

河上部長 統一をした方がよい。

石本教育長 全て入れるという方向でお願いします。

金本委員 No.17の30年度の実績のところ、3自然体験活動推進事業を実施したとあるが、日付が列挙してあるが、内容が分かった方がよい。内容はNo.40の自然体験活動のところに、こういったこと

	をしたと記載があるが、内容はこれか。
日ノ原係長	そうである。
石本教育長	No. 40 の 1 幼稚園のところの同じ内容を書くか、それとも事業の詳細については No. 40 参照という書き方をするか。スペースからして、No. 40 も全てではないかもしれない。
日ノ原係長	「等」で結んであるところもある。まとめてある感じで、1 つずつ列挙してあるわけではないようである。
石本教育長	確かに全部書くのもスペースがない。さっき言ったように活動内容については、No. 40 参照とする方がよいかもしれない。そういったことでよろしいか。
各委員	良い。
石本教育長	では、そういったことで追加をする。
宇津委員	No. 6 の⑥外国語指導助手の招致の実績のところ、1 外国語指導助手を 8 人配置したとあり、2 小学校教員向けの英会話教室を 28 回開催したとあるが、参加された先生方の延べ人数はわかるか。
牛尾室長	計算すると出ると思う。
宇津委員	28 回開催されて、しかも講師の先生を 8 人配置されて、その辺りが数字で表せるといいかと思う。
牛尾室長	1 外国語指導助手 ALT の 8 人ということで、講師というわけではない。1 と 2 の関係はない。2 英会話教室の開催、延べ人数は数字で出す。
石本教育長	2 英会話教室は、教育委員会の前原指導主事が開催されている。多い時で 10 人ぐらい、少ない時で 3 人ぐらいである。
日ノ原係長	前原指導主事と小学校専属の ALT が講師として来られている。外国語指導助手 8 人配置は、中学校に配置の ALT もいて、全部で 8 人配置である。
石本教育長	では、延べ人数も追加するようにお願いします。
宇津委員	続いて No. 7 であるが、残念ながら浜田市立中央図書館での土曜学習は開催できなかったと記してある。一方、美川公民館では伝統的にこの取組がされてきた経緯があるが、英語教室を年間 44 回も開催されている。そういう先駆的な実績を残している公民館があるわけなので、こういった公民館を 1 館でも 2 館でも増やしていける取組がこれから必要になってくるのではないかという気がしている。評価のところ、これからの取組についての決意が伺えればと思う。

村木課長　これを反省し、今年度は公民館を対象とした学習を始めており、実際に今、石見公民館、浜田公民館、長浜公民館の3つの公民館で英語教室ではないが、事業展開をしている。今年度に入っている。

石本教育長　評価のところは昨年の評価であるため、今年度に行っているということは書けないが、次年度に向けて拡大する方向であるといった表現で記入をお願いします。

村木課長　承知した。

花田委員　美川公民館の英語教室について、この枠のお金が使われているからここに挙げているのか。

村木課長　この土曜学習支援事業のお金が使われているから、ここに挙げている。

花田委員　中央図書館でやらなくなったため、これを持ってきたのかなという感じがする。

村木課長　土曜学習が出始めてから、正直、こちらに移した。元々は放課後事業で行っていた。

藤本委員　No.9のところ、来年度の予算計画でも学校支援員配置事業が出ていたが、平成30年度までは学校からの要望に対して満額ではなく予算の範囲内で配置をして、平成31年度からは学校からの要望に対しては満額になるのか。

市原課長　特別な配置を要するものには2,500万円くらい付いている。学校の要望だけで3,000万円を超えている。なかなか全ては難しい。だが、2,500万円ベースが令和2年度については、また少し拡充される。元々、平成24年までが1,300万円くらいであった。当時、本当に少ない額でやってもらっていた。学校はまだまだ困っているため、来年度は上乘せしてもらおうよう配慮してもらおう。

藤本委員　これは平成30年度の点検だからいいが、やはり支援員の配置は非常に重要だと思う。できれば満額を、と思う。

宇津委員　併せて、今のページで県立大学の学生を派遣する取組であるが、これは県大がある浜田ならではの特色ある取組ではないかなという気がしている。お金の話になるが、この方々への費用弁償はなされているのか。全くのボランティアなのか。

市原課長　県立大学と委託契約をしていて、県立大学の地域連携室で学生の方に募集をしていただいている。学校には、支援を希望されるか希望調査をして、そういった兼ね合いをしてから平成30年度はこういった配置になった。賃金もパート勤務の方と同じように

<p>宇津委員 花田委員</p>	<p>860 円の単価をベースで行っている。 承知した。</p>
<p>市原課長</p>	<p>同じく No. 9 で「配置する、配置する」と内容にあるが、30 年度の目標のところに、児童生徒の実態にあわせて適切な人員の配置を行うとともに、研修会により学校支援員の資質の向上を図るのところに、目標として挙げられているが、資質の向上を図るような研修を行われたのかが実績として載っていないが、その辺りがどうされたのか、資質が向上されたのか。実際に現場を見るに、いかがなものかなど。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>今年度は 4 月に研修を行った。だが、平成 30 年度は確認しないと記憶が確かでない。例年、4 月か 5 月に、にこサポの研修を県が行っていて、その前後で支援員を集めて研修を行う計画をしている。特別支援の担当の先生にも協力してもらって、資料の提供や講師の協力をしていただき、研修会をした上で学校での注意事項も含めて行っている。平成 30 年の実績については確認する。</p>
<p>市原課長 金本委員</p>	<p>確認をして、実績として研修を行ったと分かれば、実績に記入をして、なおかつ評価のところに、その研修がどの程度効果があったか、もっと充実する必要があるというのなら、そのような事実を評価に追加するように。そこは再確認をお願いします。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>承知した。 39 ページの平成 30 年度の実績のところに、浜田市学校支援員研修会 1 回と書いてある。 では、研修会をやっていると記載をして、評価をするように。おそらく研修会をもっと充実する必要があると思う。 色々ご指摘をいただいたが、No. 18 のところまでで何かあるか。</p>
<p>各委員 石本教育長</p>	<p>特になし。 とりあえず進むが、また何かあれば最後のところでお聞きする。続いて、No. 19 から No. 28 までのところで、一人ひとりを大切にする教育の推進と食育と体づくりの推進の 2 項目である。No. 28 までのところで何かあるか。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>No. 19 の実績のところで、4 番の山びこ学級の通級者の状況が記してあるが、小学生が実数で 6 人、中学生が実数で 14 人の生徒が山びこ学級に通級している。しかし、その右を見ると復帰者数が載っているが小学校、中学校共に 0 人である。ということは、学校に復帰が叶わなかった。特に中学校 3 年生については、進路</p>

の問題、進学等に関わってくるため、厳しい状況であつただろうという気がするが、そういった復帰者数が0人で学校に復帰が叶わなかったことは強い反省をする必要があるのではないか。努力されているのはよく分かるし、それなりの効果をあげていただいていると思うが、そんな思いである。文章でどうのこうのではないが。

石本教育長

例年、復帰者は数人おられる。特に中学校3年生が受験を前に学校に復帰するという例はよく聞く話なので、それがなかったということはどうなのだろうか。下の評価は、前段の方は良い評価だが、その中で復帰者が0人であったということについては、今後の反省材料としてひとこと付け加える必要があると思う。

市原課長

進路先については、もちろん学校に行っている、行っていないに関わらず、例えば定時制などがある。今のご意見については、担当の先生に確認するが、山びこ学級に通っていた生徒が定時制に行くをやめないという傾向がある。ところが、学校に通っていた生徒が定時制にいくをやめるといったこともあるらしいと聞いている。担当の先生に確認しながら何か文言に入れることは少し考える。

石本教育長

では、福田先生と協議をして付け加えられるところがあれば付け加えるようにお願いします。

市原課長

承知した。

花田委員

根本的なところで今、解決できることではないと思うが、内容のところで、学校への復帰に向けて、とあるが、私が教育委員をやりながらこういうことを言うのもどうかと思うが、学校に色々なタイプの子がいて、学ぶ場所や人や社会につながる場所というのは、本当に多様化してきている。そのため、教育委員会管轄の場所というのがここだと思うので、それに対する評価ということでそれに対する予算が付いていて、その評価をするのはこの中であることが当然だと思うが、学校に行つてなくても、そういうやり方を身につける、手に入れたことは、定時制に行つてもやめないとおっしゃったのはそういうことにも関係するだろうなと思ったが、全く別の場所でもあるかもしれない、色んな子が色んなところで救われていればそれでいいと基本的には私はそれでいいと思っている。学校に通うということが全てではないと教育委員である私がはっきり言つていいのかはまた別であるが、そういった意味でいうと数字で評価するとやりやすいのかなと

も思うが、他機関につながっている子どもとか、そういった情報があれば家にひきこもっていることがいいとは思わないが、どこか他の場所に居場所があれば、そこにつなげていくこともまた教育委員会の仕事でもあると思う。山びこ学級には行ってないが、別のところにいるとか、私が今1人預かっているため余計そう思うが、今すぐにどうこうの話ではないが、他の機関との連携等も入れて、それも同時に評価していったらどうかなと思った。

市原課長

まず、家から出られない子がいると、山びこは勉強をしに行くところであるため、勉強でないところでは青サガなどになるが、家から出させるということが大事である。学校には行くけど、別室登校であるとか。色々な不登校の子どもがいて、保護者の考えもあるため、色々なケースによって多様性も必要であると思う。先ほど、宇津委員が言われたように復帰者が0人であったということは、課題として認識する必要があると思っている。

石本教育長

確かに、居場所として考えたら青サガもそうだがフリースクールなどもある。現在の教育振興計画の中で内容を固めているため、変える訳にはいかないが、次の再来年度の改定するときには、その辺りを含めた内容を入れるよう記録しておいてほしい。

宇津委員

No. 23 の要保護・準要保護児童生徒就学援助の平成 30 年度の実績のところでもいろいろ書いてあるが、要保護・準要保護に関わる総支給額はおよそどのくらいか。件数、割合が書いてあるので相当な額が想像できる。

市原課長

資料的なものが今はない。

石本教育長

何千万であろう。

宇津委員

認定件数が少しずつ増えている傾向にあるのは、非常に大きな財源もいるだろうという気がする。評価のところでは、支給項目について、他市の状況も勘案しながら拡大を検討する必要があるとあるが、浜田市の拡大する項目としてはどのようなものが考えられるか。今、現在浜田市が対応している項目以外に。

石本教育長

部活動費やPTA会費などもある。

市原課長

項目が色々あり、まず支給要件が皆違う。そのところも何が正しいかというところが懸案事項である。項目も、大きいところはだいたい共通だが、自治体によって、この項目は支給するとか、その辺り異なるため、その辺りを検討する必要があると思っている。

石本教育長	県内でも多少バラつきがある。その辺りで要望等もいただいているが、他市ではやっているのに浜田市ではないため、その辺りの充実はできないのかといった要望もある。検討する必要はあると思う。できるかできないかは別にして。
藤本委員 日ノ原係長 藤本委員	これは国庫補助があったと思うが。満額ではないだろうが。ある。 ただ、それが低いから難しいのだろう。その中に支給基準、費目があって、日用品や給食費などある。ただ、ほとんどオーバーしていると思うが。
日ノ原係長 湯浅課長	国庫補助はわずかな金額である。おそらく 100 万もない。 (要保護) 児童生徒援助費としてとしか書かれていない。68 千円である。
石本教育長	それは補助じゃない。小学校と中学校の準要保護を合わせたらいくらぐらいか。いずれにしても増える傾向にあるため、宇津委員が言われるようにどれぐらいかかっているのか、ここで載せておく必要がある。金額も追加するように。
宇津委員 石本教育長 宇津委員	差し支えないか。 問題ない。 続いて、No. 24 の人権・同和教育についてだが、色々と人権集会を開いたり、講座を開いたり、平成 30 年度の実績として挙がっているが、毎年のごとで載せる必要ないと思われたのかもしれないが、もっともっと地道な、例えば子どもたちが人権作文を書いて応募するが、審査、表彰をしてさらに展示をすることを毎年やっている。ポスターについても同じである。そして、No. 46 で一般向けに標語を募集していて、それも審査し、表彰して展示をして皆さんに見ていただく取組を長年続けてこられている。それはそれとして、実績で挙げてこういう模様であったということをごどこかに実績として挙げておいたらよいかと思った。
石本教育長 宇津委員	確かに何十年も続いている。 それが当たり前になってはいけない。更に冊子も作っている。これも素晴らしいことである。その辺りも実績に載せていただければと思う。
石本教育長 花田委員	では、実績のところ追加するように。 No. 21 について、No. 29 にもあるが、親学プログラムの実施の 30 年度の実績のところ、小学校の懇談会で実施したとあるが、小学校の実施回数が載っていないが。

<p>村木課長 石本教育長 花田委員 村木課長</p>	<p>小学校では実施していない。第三中学校で実施をしている。それでは、小学校を中学校に訂正するように。 今年度、小学校での実施はあるか。 H00P になり、保育園や幼稚園で実施をしている。第三中学校は毎年行っているが。</p>
<p>花田委員 村木課長 石本教育長</p>	<p>保育園や幼稚園での実施は増えてきているのか。 増えてきている。もう 1 度確認する。 それでは、次に進みたいと思う。No. 29 から No. 36 の家庭教育支援の推進のところまでで何かあるか。</p>
<p>花田委員</p>	<p>No. 30 について、家庭教育支援チームの結成までには至らなかったのか。</p>
<p>村木課長 花田委員 村木課長</p>	<p>至らなかった。 3 年目ぐらいになると思うが、どうなのか。 実は今年度、動きがあり、来年度にモデルができあがるのではないかと思うぐらい今年度は進んでいる。確かにスタートが緩やかであったが、今年度は間違いなく、子育て支援課や他の部署とも連携を図る会議もある。来年度はモデルができると思っている。</p>
<p>石本教育長 宇津委員</p>	<p>では、この記述は今年度で終わりとなるはずである。 正式には、支援チームとは、家庭教育支援チームであるか。一番下には推進チームと書かれているが。</p>
<p>村木課長 石本教育長</p>	<p>支援チームである。 なぜ（仮称）と書かれているのか。 一般的には家庭教育支援チームという言い方をするが、浜田市の場合は（仮称）家庭教育推進ということにしたいということだろうか。</p>
<p>村木課長 石本教育長</p>	<p>申し訳ございません。確認する。 では、確認をお願いします。 それでは、家庭教育支援までのところはよろしいか。</p>
<p>各委員 石本教育長</p>	<p>特になし。 では、No. 37 から No. 54 の社会教育の推進のところまで何かあるか。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>No. 46 の実績の 1 番のところ、人権・同和問題学習を実施した公民館が 24 館とあるが、随分増えてきているのではないかと思う。増えたなら増えたように書かれた方がいいと思う。去年はもっと少なかったと思う。随分増えた印象を持った。</p>

石本教育長	昔のことを調べて、増えたのなら増えたような書きぶりで評価をしないといけないと思う。
宇津委員	良い評価も必要である。
石本教育長	そうである。
湯浅課長	昨年度は 19 館である。
石本教育長	その前も調べてみるように。増えたことで良かったという書きぶりで訂正をお願いします。
金本委員	No. 48 に入るかどうか疑問ではあるが、中央図書館と三隅図書館の開館から、ずっと私たちの努力で雑誌スポンサーをやっていた。中央図書館も三隅図書館もそうであるが、ほとんど伸びておらず、逆に減ってきているかと思う。社会貢献という部分で、この制度の周知があまりされていなかった。最近ホームページを見ると載っていたが、それまでは周知がゆるかったのか、市民の方は知らない方が多いのではないかと思う。もっと周知をして、雑誌の方も増やしてもらいたいという思いである。
村木課長	確かに更新の割合が低いとは聞いていた。現状、この 1 年、2 年で伸び悩んでいるかどうかは調べてはいないが。
石本教育長	中央図書館開館から行っているが、当初は商工会議所の会合に出掛けて行って会員の方々にお願いしていた。そういったことは、今は全くやってないか。
村木課長	はい。
石本教育長	その辺の雑誌のスポンサー制度をやっているのも、PR もすべきであるということもどこか入れた方がよい。
金本委員	ここが多様な分野の図書の充実と書いてあるため、ここしかないと思った。
石本教育長	確かに、スポンサーがあるのは、いわゆる雑誌と呼ばれるところのカバーについている。
金本委員	今の時代の社会貢献という姿を浜田市全体に見せるために、という意味でも良いかなという気がしている。
石本教育長	状況がわからないため、調べてみるように。
村木課長	承知した。
石本教育長	ここに入れ込むことも検討するように。
村木課長	承知した。
石本教育長	No. 47 の公民館の施設改修事業のところ、どういった工事を行ったか金額も書いてあるが、No. 14 の学校施設整備事業では金額が挙がっていない。こちらでは、細かく金額が挙がっているた

	め、どういった扱いにするかを検討して大まかな金額でも載せた方がどれくらい使ったのかが分かる。その辺りを検討してみるようにお願いします。
	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	No. 55 から No. 62 までスポーツの関係のところ、何かあるか。
宇津委員	No. 57 の実績のところ、「体操のまち浜田振興事業」強化・育成会議の参加者のところで浜田市体育連盟とあるが、これは体操連盟ではないか。
石本教育長	体操連盟である。
村木課長	大変申し訳ない。
宇津委員	細かいことで申し訳ないが。
石本教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	では、最後の歴史・文化の伝承と創造のところ No. 63 から No. 75 までで何かあるか。
宇津委員	No. 67 でスクールコンサートについて書かれてあるが、スクールコンサートは3年間で市内全小・中学校を巡回するとあるが、30年度が最終年度だったのか。
外浦課長	そうである。
宇津委員	平成31年度以降は、このスクールコンサートに見合う取組はされているのか。もう終わった取組なのか。やはり、生の音に触れるということは、子どもたちにとっては新鮮で揺さぶられるものである。そういった意味で良い取組だったと思う。平成31年度はどうなのか。
外浦課長	平成31年度以降も引続いて3か年計画で、次は南米アンデスの音楽を今年度まず第1回目で行っている。
宇津委員	承知した。
石本教育長	これは全額、国の制度を受けているのか。
外浦課長	国の補助はない。
石本教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	それでは、全体をとおして No. 1 から No. 75 までのところで、言い忘れたところや新たに気付かれたところなどあればお願いします。
宇津委員	給食のところ、作る側として異物の混入が非常に問題視され

	<p>ているが、そのことについてはどこかに載せる必要がないのかなど。</p>
石本教育長	<p>給食の関係、食育の関係は No. 25、26 であるが、No. 26 は地産地消のことが主になるため、入れるとしたら No. 25 である。No. 25 の中に給食の安全性について入れてみるか。内容が違うかもしれないが。</p>
宇津委員	<p>何も起こらなければ問題ない、心配ないのだが。</p>
石本教育長	<p>今年、報道発表したこともある。</p>
金本委員	<p>それとも安全安心な環境の確保のところ。</p>
日ノ原係長	<p>No. 16 の児童生徒の安全で安心な環境の確保のところではどうか。</p>
石本教育長	<p>ちょっと趣旨が違うかもしれない。</p>
	<p>入れるとしたら、No. 25 の食育のところに。</p>
河上部長	<p>いわゆる異物もあるが、今、地元産を使うということで虫も入ったりするが、地元の無農薬のものを使っていて、食べることとそういったことも含めて食育のところで少し追加をさせていただきたいと思う。</p>
石本教育長	<p>では、教育総務課で検討して修正案を委員方に見ていただくようお願いする。</p>
	<p>その他、何かあるか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>では、101 ページの目標達成度について、それぞれの項目で目標数値が挙がっているが、その達成状況である。計画が最後まで終わっていない途中の段階のものもあるが。</p>
花田委員	<p>この表の中の目標値は、いつ設定されている。</p>
石本教育長	<p>計画を平成 27 年度に作成しているため、その時に作った目標である。</p>
花田委員	<p>既に達成されているものも結構あるが。</p>
石本教育長	<p>それを見直しするかどうかである。6 年計画の内の 3 年間で終わったため、それだけ見直しをすることは必要なことである。</p>
河上部長	<p>目標値の上方修正の話は内部ではしている。目標が 70 で 75 になったため、80 にするのかといった話も含めて話題にはしている。</p>
石本教育長	<p>この辺りは、実は議会の中で議員方からのご指摘も受けているところであるため、事務局の方で詰めをしないとイケない。</p>
河上部長	<p>表の R2 年度、R3 年度は今回追加をした。今後のところでその</p>

	辺りも話をしつつある。
石本教育長	引続き検討をお願いする。 その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	丁寧に見ていただき修正していただいた。ありがとうございます。修正については、いつまでに修正を行い、いつまでに委員方に送付をして、また委員方から意見をもらうのか。
日ノ原係長	まず、議会には12月10日の総務文教委員会に提出を予定している。今は、まだ総務課から締切りがきてないが、概ね11月下旬が提出の締切りではないかと思う。
石本教育長	では11月5日くらいまでに修正をして、11月4日の週で委員方に送付をして、それに基づいて11月15日までに委員方にご意見をいただく。最後の修正は大きな修正ではないのでできるか。
日ノ原係長	はい。
石本教育長	今日、いただいたご意見に基づいて、事務局での修正は11月5日までに行い、その週の内に委員方に修正したものをお送りするので、11月15日までに修正箇所についてのご意見等、また、お気づきの点があればそれも含めて事務局にご連絡をいただきたいと思う。 11月15日には周南市に視察に行くため、その時に持ってきていただいても構わないので、よろしく願います。そういったことで、12月10日の総務文教委員会に提出する予定で進めていきたいと思う。
	このことについて、何かあるか。
委員方	特になし。
石本教育長	ありがとうございました。

(3) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について (資料3)

河上副参事	教育総務課から規則の改正の提案に入る前に、現状を説明させていただきたいと思う。実は幼稚園で障がいを持つ子どもさんの受け入れについて、昭和61年4月に原井幼稚園でそういった保育を行うということで始まり、それ以降はずっと原井幼稚園で支援が必要なお子様を預かる部屋を設けていた。ご承知のとおり、昨年12月に原井幼稚園にそういった部屋があるということで園児の募集をかけたが、残念ながら原井幼稚園は休園状態になっている。昨年の申込みの中で今年の4月からの入園児の中には、そ
-------	---

ういったお子様がいなかったということもあり、そのまま休園している原井幼稚園でしか受入体制がない形になっていた。この度、12月2日から令和2年度の幼稚園園児の募集をするにあたり、先だって教育長とも募集要項についてのすり合わせをしたところ、その中でやはり支援が必要な子どもさんを受け入れる体制をまず整えてから募集をすべきではないかということで、今、そういった部屋を設けるとしたら石見幼稚園が一番適しているのではないかということで、その教室のためだけに原井幼稚園を開けるということは中々難しいということで、石見幼稚園長と協議の上、石見幼稚園に設けることとした。

今日、実際に見ていただいたと思うが、幼稚園に入ってまっすぐ進み、突き当たりの右側の部屋である。今日はカーテンが閉まっていたため、中をご覧いただくことができなかったが、今は保護者の方が自由に使える部屋として利用されており、今日は使っておられたと思う。エアコンの設置についても、現段階では部屋に設置する予定である。財政課とも協議をして、経費をかけずに行うということであれば、そういう部屋を設けるとすることも財政課から了解をいただいている。そういった現状を踏まえて、資料3の提案説明をさせていただきたいと思う。

今、幼稚園管理規則があり、その中に色々と謳っているが、この度、特別支援教室を石見幼稚園に設置することと、後段については、今回の特別支援教室とは全く関係ないが、今まで原井幼稚園の例で既に3学年、5歳児、4歳児、3歳児が10人以下だった場合には、3学年の混合学級にするというのは教育委員会の基準にもあり、既に原井幼稚園で行っていたことだが、規則にはそれを入れずに運用でやっていたところがあり、今回見直しに併せてこちらを明文化するところである。この2点をこの度、規則改正をしたいと思っている。

裏面に改正例があり、次のページの横長の表が新旧対照表である。ここは、非常に色々と直しているように見えるが、言い回しの仕方を文章にせず、項立てにして分かりやすくしたものが右側である。内容を変えたところは、先ほど申し上げた新旧の改正後で見てもらうと、3項の2号にある満5歳、満4歳及び満3歳の幼児の混合学級定員10人というところを変えている。そして、第8条の表の中で、原井幼稚園の下に石見幼稚園の特別支援教室を1部屋設けて定員は5名にするというところを付け加えたこと

	<p>が改正である。本日、定例会において改正についてご承認いただきましたら、後は規則改正をしてこちらの改正を踏まえて 12 月 2 日からの幼稚園園児の募集を開始したいと思っている。ご審議をよろしく願います。</p>
石本教育長	<p>ありがとうございました。資料 3 の説明資料の中の概要であるが、石見幼稚園への特別支援教室の設置をするということ、そして、満 5 歳児、満 4 歳児及び満 3 歳児の混合学級の設置について、3 学年の混合学級の定員は 10 人とするということが今までは書いてなかったため、それを新たに加えるということが今回の改正である。色々書いてあるが、それは単なる文章を項立てにさせていただきの違いである。</p> <p>質問等はあるか。</p>
宇津委員	<p>質問はないが、特別支援学級が石見幼稚園に設置されることに伴って、指導者の確保も付いてくると思うが、その辺りも含めてこれから考えていただきたいと思う。</p>
石本教育長	<p>特別支援学校の教員免許を持っておられる方は限られた先生であるため、人事異動の時にそういった対応を可能な限り充てるということになると思っている。今、免許を取得するために勉強をしておられる先生もおられるため、そういった先生が免許を取りやすいような職場での配慮等も必要であると思っている。</p> <p>その他はよろしいか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長	<p>この改正案について、承認していただけるということでよろしいか。</p>
各委員	<p>全会一致で承認</p>
石本教育長	<p>ありがとうございました。それでは規則改正の手続きをよろしく願います。募集要項はあるか。</p>
河上課長	<p>今回これを踏まえて、次回の 11 月の定例会の時に説明をしたいと思う。</p>
石本教育長	<p>承知した。</p>

3 部長・課長等報告事項

河上部長	<p>令和元年 11 月浜田市議会臨時会議及び 12 月浜田市議会定例会議日程(案) (資料 4)</p> <p>既に新聞で発表をされているが、10 月 17 日に会派の構成変更ということで最大会派が変わっており、メンバーも変わって</p>
------	--

いる。既に議会のホームページでは名簿と併せて会派の構成が載っている。委員会構成については、11月に入って発表になるため、ひとまず会派の名簿については後ほどお渡しする。本会議は12月2日（月）に開会で18日が表決の予定である。以上である。

湯浅課長

行事等予定表（資料5）

本日から11月30日までの間の、教育委員会の関係の行事等予定表を掲載している。内容については、お読み取りいただきたいと思うが、この中で、委員方にご出席いただきたいものについてご案内をしているものが、10月26日から2月22日の間に行われる学習発表会、文化祭の関係である。

それから10月31日に開催される第2回学校統合計画審議会説明会（美川小学校、第四中学校校区）の関係である。

それから11月15日には教育委員会の視察研修ということでお願いしたいと思っている。

それから11月16日に税に関する絵はがきコンクール表彰式である。

続いて11月19日に第174回教育委員会定例会を予定しているため、ご出席をいただきたいと思う。それから備考欄にもあるが、それぞれ資料等があるものについては記載をしているため、この後、担当課長等から説明がある。よろしく願います。

石本教育長

税に関する絵はがきコンクール表彰式については、案内を送ってないと思う。逆に浜田市小・中連合音楽祭の案内は届いていると思う。浜田市小・中連合音楽祭には丸をしてほしい。

河上部長

10月31日の島根県同和教育推進協議会連合会浜田ブロック研究集会は各市町の教育委員方も案内先に入っているが。

湯浅課長

大変申し訳ございません。

河上部長

10月31日の案内は届いてないか。

藤本委員

届いていない。

石本教育長

10月31日の案内は送ってないのか。

平岡室長

していないと思う。

（代理：三浦係長）

石本教育長

委員方には案内はしてないようだが。

金本委員

11月22日の案内は届いている。

石本教育長

これは学校から直接送付されるのではと思う。そのため人権

を通らないので分からない。資料を作るときに一応第三中学校に確認をするなどしないと今回丸がないなど間違いがあったので。

もう一度お伝えさせていただくが、11月6日の浜田市小・中連合音楽祭は丸である。そして、11月16日の税に関する絵はがきコンクールは丸ではない。案内をしていない。11月22日に第三中学校で開催される平成30年・令和元年度文部科学省人権教育指定校人権教育研究発表会については、丸である。

市原課長

令和元年度学習発表会等日程（追加資料）

資料番号がない資料である。当初、案内を送ったものから変更となっている学校がある。弥栄中学校が11月2日から11月9日に変更である。それから、第一中学校と第三中学校については、合唱コンクールとして実施をする。三隅小学校については、11月ではなく2月22日に変更である。ご確認をお願いします。以上である。

牛尾室長

令和元年度「新しい学びプロジェクト授業研究会」浜田大会について（報告）（資料6）

いわゆる協調学習の浜田大会である。10月18日に金城中学校で数学科と道徳科、旭中学校で社会科と道徳科の授業研究会が行われた。藤本委員、金本委員にはお越しいただきありがとうございました。これは、優れた授業実践を公開するというような意味ではなく、今の段階での生徒の様子を授業を基にして一緒に研修を兼ねましょうといった研究会であった。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改革と言われているが、それに向けての授業の取組であった。

県外からは、北海道、埼玉県、和歌山県、広島県、山口県、福岡県から総勢73名の参加があった。18日の夜には情報交換会があり、38名の参加があり、神楽の上演等もあって大変喜んでいただいたところである。今後の浜田市の教育を進めていくにあたり、大変有意義な研究会になったと思う。

第6回（10月）校長会資料レジュメ（資料7）

10月の校長会、教頭会で伝えた内容である。

まず、1番目に開府400年の記念事業で小中学校作文コンテ

ストの結果をお伝えした。応募総数であるが、大変短い期間での取組であったが、小学校から 692 点、中学校から 99 点、総数が 791 点で、全ての小中学校で取組んでいただいている。学校によっては、学年全体で取組み、学級全員で取組んでいた。

資料 A をご覧いただき、最優秀賞の小中学校の児童生徒には、10 月 13 日の記念式典で表彰された。他の入賞者については、審査委員長であった川神議長と私で該当の学校を訪問して直接、入賞者に表彰伝達をしている。現在、半分伝達したところである。また、明日残りの学校を訪問する。やはり、直接伝達をするということで学校にもお礼を言うことができたが、学校側も本人が非常に喜んでおられたということであった。

2 番目に浜田市児童生徒アンケートについて、資料 B をご覧いただきたい。質問項目が 6 項目あるが浜田市総合振興計画の目標項目であり、小中連携の教育の目標でもある。①がテレビゲームやメディアと接触をしない。②が家庭学習の時間。③が自分にはよいところがあると思うか。④が人の気持ちが分かる人間になりたいと思うか。⑤「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思うか。⑥「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思うか。といった 6 項目について、11 月に全ての小学校第 6 学年と中学校第 3 学年でアンケートを実施し、推移を分析している。

3 番目に、浜田市の取組の重点事項として資料 C をご覧いただき、校長会、管理職等の会議であったり、学校訪問に指導主事が出向いた時であったり、重点的に浜田市が取組んでいきましたというものを整理したものである。1 つが「めあて」、「まとめ」、「振り返り」を徹底・充実していきたいと思います。

裏面をご覧いただき、家庭学習の充実ということで浜田市の大きな課題の 1 つである家庭学習の時間、時間だけではないが充実をしていきたいと思います。

それから、落ち着いた学級づくりということが学力向上にも必要であるため、3 つ目に授業づくりと学級づくりは両輪であるとまとめたものを 1 枚紙にして繰り返し現場の方に伝えている資料である。

レジュメに戻っていただき、4 番目の先ほどお話した家庭学習の充実に向けてということで、再度資料を提供して一緒に考えていただいた。下にあるグラフをご覧ください、家庭学習を1 時間以上している子どもの割合の推移をグラフで表している。徐々には増加しているが、中学校については全国と比較して下回っている状況を重く受け止めている。そのため、一層家庭学習の充実に向けて取り組みましょうと話している。

裏面をご覧ください、メディア接触についても推移を表している。昨年度、2018 年 11 月に浜田市独自のアンケートということで行っている。今年も 11 月に行うが、中学校はメディアの接触時間が大きく増加している。中学 3 年生は部活動がなくなって、時間があるということも一つの原因かもしれないが、先ほどの家庭学習が微増、メディア接触が減少よりむしろ増加しているということは、1 日の中で他の何らかの時間が削られている。それが、読書の時間、睡眠時間、食事の時間だとか、いずれも貴重な時間であると伝えている。

資料 D は家庭学習の状況を浜田市全体の各小中学校別にデータを挙げて、それぞれの学校の小学校 6 年生と中学校 3 年生だけであるが、こういった状況になっていると資料提供をして考えてもらったところである。令和元年度と裏面に平成 30 年度でほぼ同じ状況である。浜田市の状況としては、高正答率層が少ないということがあったり、2 時間から 3 時間が少ない、3 時間以上が少ない、逆に 30 分未満が多い。小学校は 3 時間以上する必要はないと思うが、全国を見るとかなりの割合で塾もあるのだろうが時間数が多い。このことが、浜田市の状況で高正答率層が少なかったり、発展的な学習が少なかったり、そういうことに関わっているのではないかとということで資料提供をした。

レジュメの 2 ページに戻っていただき、では家庭学習で学校がやれることはということで資料を提供して、①家庭教育を重視する校長の基本方針と教員の共通理解である。特に中学校では、教科の壁を越えた積極的な取組をしていく必要があるということである。

③小学校では低学年からの学習習慣の定着ということで、習慣がやる気を引き出す意識が重要だということで、学習プリントの活用等も含めて話をしたところである。

最後に3ページの5番目である。学校図書館という月刊誌がある。学校には届いてないが、図書館関係の雑誌でその7月号に川島隆太氏の講演で「子どもの脳の発達と読書」ということで、載っていたので要約してまとめた。教員は、読書が学力に大きく影響していると経験から知っている。スマートフォンの影響もあると十分に知っているが、それが脳のデータによって科学的に証明されたという講演で、そこが非常に影響が大きいという話だったので紹介をした。4つ目のひし形のところをご覧いただき、「読書と成績の関係が脳科学で証明」ということで、どのような子どもたちが平均点を超えているのかというと、1時間以上しっかり読書をする習慣を持っている子どもで、とりあえず宿題をやる習慣があって、6時間以上寝ている子どもは、みんな平均点を超えている。要は、睡眠時間が確保されていて、本を読んでいる習慣がある。これは「脳の違い」であり、脳に入ってくる情報量が違う。もちろん、授業をまじめに受けていることが前提になる。

次に「スマートフォンは子どもの脳の発達を止める」というところである。スマートフォンを使う時間が長くなればなるほど成績が下がることが分かった。影響の出やすいアプリはLINEである。つまり、スマートフォンの使い過ぎは、子どもたちの脳発達を止めてしまうということ、スマートフォンも1時間未満で抑えれば影響が少ないということもデータから分かった。そのため、スマートフォンの規制やかなり影響が出てくることは、研修で子どもたちも知っているが、もっとデータを提供しながら考えさせることが必要ではないかということをお話したところである。以上である。

村木課長

「公民館だより」の浜田市HPへの掲載について（資料8）

これは、ほとんどの公民館で毎月発行している「公民館だより」をホームページに掲載したというご案内である。

この度、9月から「浜田市立公民館の活動内容」ということで、それぞれ掲載している。浜田、金城、旭、弥栄、三隅自治区でイラストも公民館と協議しながら、その公民館を表すようなイラストを選んで載せているため、ご覧いただければと思う。こういったことにより、他の公民館の情報等も見られるようになり、全国的にも郷土の公民館の事業が見られるようにな

った。

浜田市 PTA 連合会スポーツ大会の開催について（資料 9）

恒例になっているソフトバレーボール大会の交流会が、先般、10月20日に行われた。全66チームの参加があり、各ブロックごとに戦うが、最終的な優勝は決めずして、あくまでの相互の親睦を深めるとともに、体力の向上を図る。開催日までのところで週に1、2回練習をするという継続的なことが目的であるため、最終的にてっぺんをとるような大会ではなく、ブロックごとの懇親を深めようという大会であるため、優勝等はない大会である。

第13回浜田市総合スポーツ大会開催について（資料10）

毎年、体育の日に開催をしている浜田市総合スポーツ大会である。10月14日（月・祝）に浜田市内21団体と関係者総勢約250名の参加により県立体育館で開催をした。

スポーツ功労者表彰者は、ご覧のとおり10名の方と全国大会上位入賞団体表彰で三浦龍司君の表彰があり、さらには団体ということで旭の雪合戦の男子一般、レディース、小学生それぞれ表彰をさせていただき、最後にこの度文部科学省の表彰を受けた檜谷卓夫さんの表彰を披露したところである。

裏面には、先般、委員方にもご案内した大会予定表である。

浜田開府400年記念リレーマラソンについて（資料11）

浜田開府400年を盛り上げようということで、浜田市陸上競技協会の主催で開催された。当初は10月12日（土）に開催予定であったが、台風19号の接近のため1週間延期をして、10月19日に開催した。浜田市勤労青少年ホーム前からスタートして、概ね1kmのコース4周を4人で走るリレーマラソンであった。若干、チーム数は減ったが、16チームの参加があった。

高齢者を支える図書館プログラムの展開について（資料12）

現在、図書館においては色々な団体との連携をしながら目的を持った知の拠点という形で進めており、今回は浜田市社会福祉協議会と連携をして、認知予防等の啓発で講演等、読んでもらいたい本ということで連携を組んだ事業展開である。

浜田市立図書館における高齢者支援ということで、3つのポイントを挙げているが、こういったことも紹介をしながら参加者の方に図書館としての取組も説明したところである。以上である。

外浦課長

支所展示について（資料13）

まず、資料にはないが先日10月12日に浜田城資料館の開館式を行った。委員方にはご出席いただきありがとうございました。現在まで、概ね730名の来館があった。多いか少ないかはこれからとして、より多くの方に来ていただけるように管理したいと考えている。

それでは、資料13の支所展示についてであるが、支所の空きスペースを活用して各自治区の歴史資料を展示している。今年と来年の2か年で計画をしている。今年度は10月から弥栄と三隅の2か所で展示を行った。

弥栄では、弥栄会館1階、また三隅では三隅支所1階で展示をしている。ご覧の写真のような展示であり、是非ご覧になっていただきたいと思っている。

金城、旭については、来年度の展示予定であるが、金城については今年の11月から仮設ではあるが展示をしている。簡単であるが以上である。

平岡室長

（代理：三浦係長）

令和元年度人権を考える県民のつどい開催要項（資料14）

資料14の要項の次のページの人権を考える県民のつどいのチラシをご覧いただきたい。講演会で講師をしていただく家田荘子さんが松江に来られる。

次のページには、しまね人権フェスティバル2019のチラシを付けているが、この講演会とフェスティバルを併せた県民のつどいが、昨年度は江津市で開催されたが、今年は松江市で開催される。

開催日は11月17日（日）島根県民会館で11時から16時40分の間、開催されている。興味がある方がおられましたらこちらのつどいにも参加していただければと思う。簡単であるが以上である。

小松分室長

第30回三隅自治区人権を考える集い（資料15）

開催日は、11月30日(土)、場所は三隅中央会館で開催をする。今年度は、第30回の節目の大会であるため、小学校5年生、6年生の児童、また、三隅中学校の生徒全員を対象として、この研修会に参加してもらうことになっている。

その他には、各小中学校での人権同和教育の取組、三隅の各公民館を単位とした各地区人権・同和教育推進委員会の活動発表等も行う予定である。是非、お時間がありましたらご参加いただければと思う。

講師の先生については、講談師の神田香織さんである。よろしく願います。

外浦課長

あそぶ木のアート展(追加資料)

浜田市世界こども美術館の展覧会についてである。10月12日から1月13日までの開催である。浜田の木で遊ぼう!あそぶ木のアート展ということで、開催している。

裏面をご覧いただき、木のアートをテーマに地元浜田の木材とアートを結び付けた美術展ということで行っている。木の温もりを感じて、地域の魅力を再発見していただきたいと思っている。

石本教育長

以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

それでは、今までの報告事項の中で委員方から質問等があれば願います。

藤本委員

質疑応答

資料6の「新しい学びプロジェクト授業研究会」浜田大会であるが、私は事情があつてあえて金城中学校で出席をした。この研究会で感じたことで、1つ目に授業を始める前に出席者の方に説明事項があつたが、金城の場合は数学科と道徳科の授業があり、出席された方がどちらかに出席をしていたが、1つの会場で同時にそれぞれ説明をされて、聞いている方は非常に聞き辛かつた。説明された方は、説明したという認識だと思ふが、非常に配慮が足らなかつたと思つた。やはり、会場を分けるか、分けられなくても何かフォローがないか、同じ会場で両方から話されるため、分

からない。私は主催する側としたら注意しなければならないかなと思った。

それから、2つ目に私の感想であるが、私は道徳科に参加をし、協調学習に非常に興味を持っているが、机の組み替えが非常に多かったと思った。あんなに多くされなくてもできるのではないかなと思った。具体的には私もやり方は分からないが、机を組んだり元に戻したり、また組んだりまた戻したり、そういったやりとりが3回ぐらいあって、授業時間の割には多過ぎるのではと思った。以上2点を感じた。

牛尾室長

授業者の説明部分は非常に大事な部分であるが、参観者の立場になったときに、そういった配慮も必要であったと思う。

石本教育長

2つ目に言われた机の組み替えについては、授業の構成上エキスパートのところやジグソー法があったりして、そういう授業の流れのため、おそらくあの回数が必要であったと思う。一瞬ざわざわするが、あれがあの授業の肝であり、必要なことなのかもしれない。

藤本委員

協調学習というのは、私の考えでは4人から5人のグループでお互いが意見交換や話し合いをして、結論を出すということが協調学習のスタートだと思う。それが道徳でも数学でもあまり変わらないのではと思う。

石本教育長
各委員

その他は質問等あるか。
特になし。

4 その他

(1) その他

石本教育長
各課長

事務局からその他何かあるか。
特になし。

石本教育長
各委員

委員方からご報告やご質問があればお願いします。
特になし。

次回定例会日程

定例会 11月19日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 12月20日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

16 : 17 終了